

岩手

# 東日本大震災からの復興へ

## —— 被災企業のゼロからのスタート ——

中小機構では、東日本大震災により被害を受けた中小企業等の早期の事業活動の再開のため、自治体と協力して仮設店舗、仮設工場等の施設を整備しています。

### 復興天神15商店街

所在地：岩手県釜石市天神町5番17号

入居者：津波により被災した市の中心市街地である東部地区の15店。食料品や日用品の小売業、美容業、飲食業等



アトリエ金と銀・山崎 昭子様

### アトリエ金と銀 (生活小物、ジュエリー販売)

#### 「再開は180度の転機でした」

津波により高額商品のほとんどがなくなり、今後の再開などは考えられませんでした。避難所生活をする中、常連さんからいつかは始めるのと、日に日に声をかけられました。絶対無理だと思っていたにもかかわらず、お客さんが望んでるのであれば少しでも役に立ちたいと再開を考え始めました。

仮設商店街ができ、交流が生まれてきたことでお客さんの心にも、自分の中にも少しずつ元気が出てきたのではと感じています。商品を販売するとともに、同じ被災者としてお客様の気持ちも元気にさせたいです。

### 新里商店 (飲食料品販売)

#### 「ピンチをチャンスに変えてやる」

親は商売を辞めると言っていましたが、自分としては常連さんの再開を望む声もあり、4代続いた店を終わらせたくない、もう1度やりたいという強い思いがありました。

何も無くなってしまったのなら、ピンチをチャンスに変えてやるとの思いで、再開することが出来ました。一時は、避難所生活でだいぶ元気をなくした父でしたが、店を再開してからは、また元の元気が戻ってきました。諦めなくて本当に良かったです。海と共に生きてきた自分たちには、やはりこの場所で生きて行くしかありません。いずれは、この土地で店を持つことを目標に商いを続けます。



新里商店・新里 正也様



マコ美容室・阿部 眞智子様

### マコ美容室 (美容室)

#### 「再び店を持つことを目標に」

避難所生活の中で、今後自分はどうすれば良いんだろうと、考えれば考えるほど、先は見えなくなっていました。ただ、自分とすれば40年も手を休めずに動かしてきたのだから、絶対に店を再開させたいとの思いはありました。

再開できて、またハサミも握れるし、着付けもやれるんだなあと感慨深い気持ちでした。手を休める事なくふたたび継続できて嬉しく思うのと、また収入があることで今後に繋げることができ、少し安心しています。今後は、外面の美しさもそうですが、顔の見える商いで会話を通し、心のケアもしていければと思っています。

中小機構ホームページに個別企業への詳細な取材内容を掲載しております。

<http://www.smrj.go.jp/>

取材：平成23年12月14日